

## 令和 5 年 10 月 9 日 05 時 25 分頃の鳥島近海の地震による長周期波動について

東京大学地震研究所

東京大学地震研究所では、STS-1 広帯域地震計を筑波、室戸、白木観測点（図 1）に設置している。これらの地震計により記録された令和 5 年 10 月 9 日 3 時から 8 時(JST)までの 5 時間分の地震波形を図 2-4 に示した。これらの波形は周期 20-100 秒のバンドパスをかけており、すべての観測点のスケールは同一である。3 時台の波形は遠地のイベント（Bismarck 海 M5.9）によるものであり、長周期波動は 5 時ごろから 1 時間半程度継続し、その後終息している。

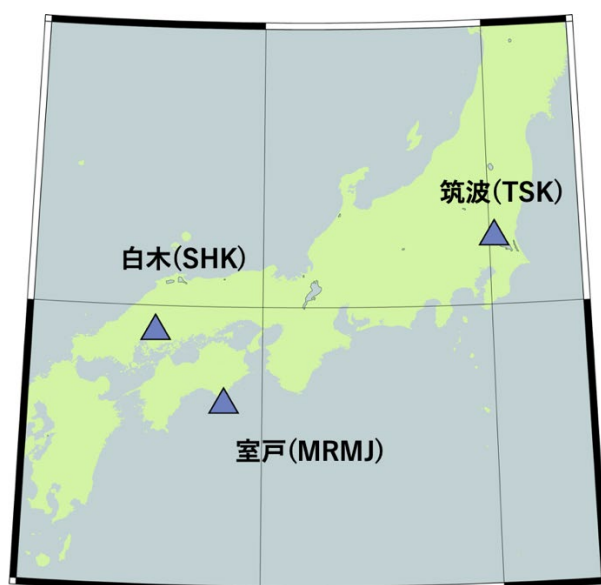


図 1. STS-1 観測点地図

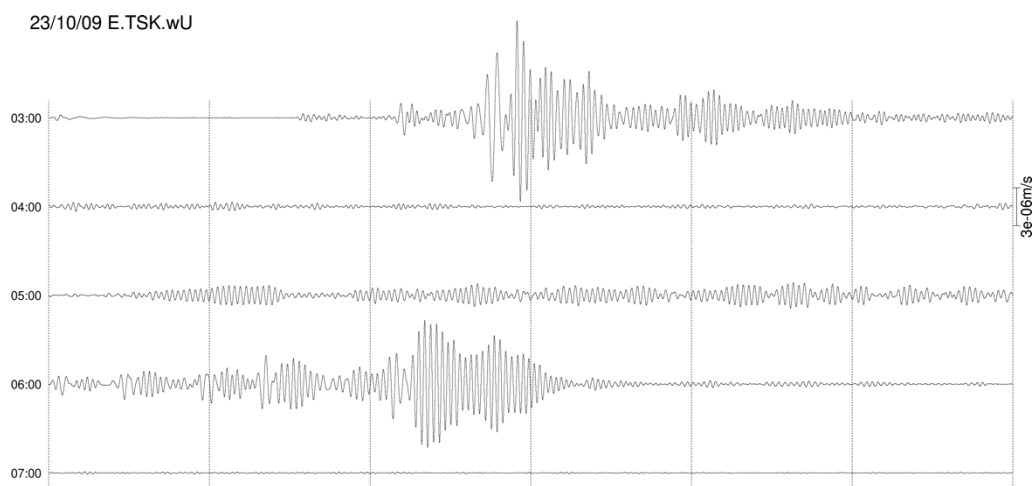


図 2. 筑波観測点において観測された長周期波動

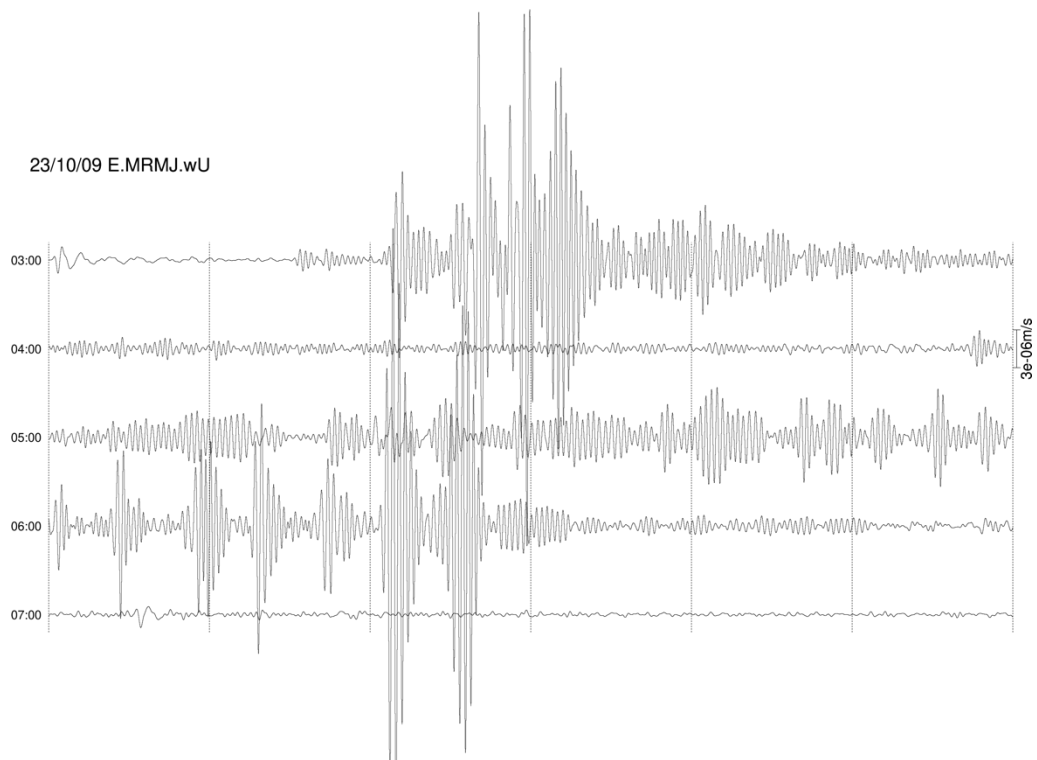


図 3. 室戸観測点において観測された長周期波動

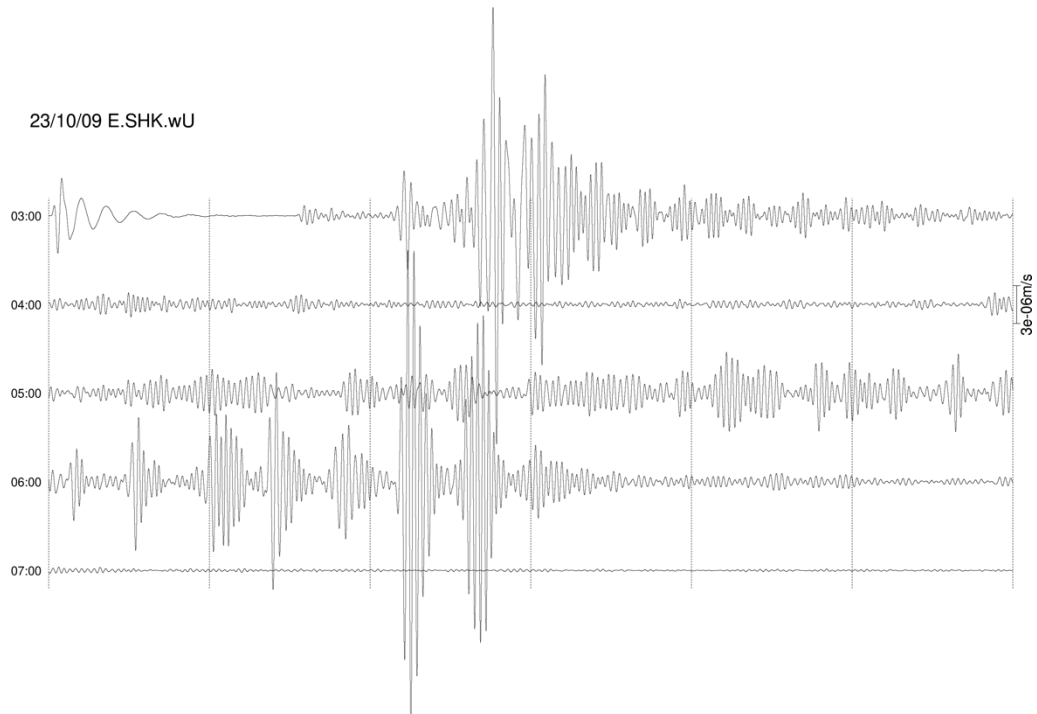


図 4. 白木観測点において観測された長周期波動